

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム星の家 ゆうづつ

目標達成計画

作成日: 平成 24年 5月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	13	研修の案内の提示は行っているが、現状、なかなか参加できておらず、勉強会も定期的には行えていない。	介護について、何か興味をもち、興味を持った分野の研修に参加していく。また、自己の研鑽に努めていく。	介護の職に就いてから、関わっていく身近な分野の勉強会を開き、興味が持てる機会を作る。 6ヶ月
2	21	入居者の方が増え、今後、ご利用者が孤立しないよう、ご利用者同士、支えあえる環境作りに努めていく必要がある。	職員一同、協力して、ご利用者の方が不安にならないよう、こまめな声かけ等を行える環境作りを行う。	職員同士声かけを行い、再々声かけをしても、思うようなコミュニケーションがとれていない職員がいれば、他の職員がフォローに入る等、円滑なコミュニケーションがとれるよう、日頃から職員同士もコミュニケーションをしっかりととり、良好な関係を築いておく。 6ヶ月
3	33	事前に説明等を十分に行っているが、いざ重度化し、入院等になってしまうと、ご家族が不安を感じ、クレームになりそうなどときがある。	ご家族との信頼関係を築き、何かあったとき、スムーズな対応ができるような環境作りを行う。	状態が悪くなったときだけではなく、日頃からコミュニケーションをとり、ご家族との信頼関係を築いておく。また、ご家族が不安に感じるときには、いつでも相談にのれるよう体制作りを行う。 6ヶ月
4	49	外出支援は行っているが、一人ひとりの希望にそっての外出は、行えていない。遠出の外出については、ご家族の協力体制により偏りがある。	なるべく希望にそって、外出できるよう支援を行い、年に何回かは遠出の外出を計画し、普段は行けないような場所への外出を行う。	近場の散歩でもよいので、定期的に行うことから始め、定期的に行えだしたら、近場への外出、その後、遠出への外出へと移行していく。 6ヶ月
5	54	居室の空間が入居者によっては、物が少なく、少し殺風景なところもある。	なじみのある物をご家族にもってきていただき、個々の生活感がわかるような居室の環境作りを行う。	物があふれかえるのが嫌な方には、無理強いはいししない。ご本人・ご家族と話し合い、馴染のある物は持ってきていただくようにする。その際、転倒等しないよう、安全面には配慮する。 6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。